

平成26年度 小千谷市算数部 活動報告

部長 新崎 俊博

1 研究の概要

小千谷市では、確かな学力の向上に向けた方針を学校・家庭のそれぞれの役割に応じて提言している。特に学校の役割として、「『できた、分かった』という体験を積み重ね、自分で学習を進める子どもの育成に努める」ことを目標に掲げ、各校が主体的に授業改善にあたっている。算数部では、各校の研究内容や具体的な方策を授業改善の視点として発表し合い、その成果を共有する場を設定した。

2 研究活動の実際

(1) 第1回算数部研修会(同日 市教研総会)

- ① 日時 4月23日(水)
- ② 会場 小千谷市立小千谷小学校
- ③ 内容・年度の研究方針と推進計画の説明(部長)
 - ・ 各校の課題と解決の方向性について紹介(学年別グループ討議)

(2) 第2回算数部研修会(同日 市全員研修)

- ① 日時 8月21日(木)
- ② 会場 小千谷市文化会館
- ③ 内容 共通のテーマや教材について指導案や指導計画を学年毎に持ち寄り検討

(3) 県小教研算数部協力校・協力員等による授業公開及び授業研究会

- ① 協力員等：片貝小 9月16日(火) 5年「倍数・約数」
- ② 協力員等：東小千谷小 9月29日(月) 5年「分数」
- ③ 協力校：吉谷小 11月20日(木) 5年「比例」
- ④ 協力員等：南小 11月26日(水) 2年「かけ算」

3 成果と課題

市として具体的な子ども像を設定し、それに向けて会員が、学校独自の実態に基づき、授業改善を図り、それを共有することで市としての研究成果を上げることを意図した。

学年ごとにグループを編成し、教材研究を行ったり指導上の問題点を紹介し合ったりすることで、会員相互のアイデアや悩みを共有することができた。また、それぞれの学校が進める授業改善の具体的な方策を知り、互いに良い刺激を得た。

その一方で、研究対象が単元・教材に留まっており、お互いの学校の学力分析に伴う学力向上策や、統一した課題設定に基づく研究などの必要性を指摘する声もある。それぞれの学校が大切にしている部分を担保しつつ、市全体の研究成果としてどのように具体化していくかが今後の課題である。